

日本経済論 A 答案用紙

2005年7月25日実施

学科・学年		学籍番号	
氏名			

問題1 2点×35=70点

1	4	2	3	3	2	4	1
5	3	6	2	7	1	8	4
9	2	10	1	11	4	12	3
13	1	14	4	15	3	16	2
17	4	18	3	19	2	20	1
21	3	22	2	23	1	24	4
25	2	26	1	27	4	28	3
29	1	30	4	31	3	32	2

問題2 (30点)

現在の日本経済の低迷状態は、資本主義の「グローバル化」、「IT革命」、「金融革命」という長期的な潮流の変化の結果である。そして、「グローバル化」という波がアメリカを発信地としていることが不安を根源的なものにしてている。80年代以降アメリカ的な「株主主権」論と日本的な「会社共同体」論の間で争いがあり、アメリカ的な株主主権論の優位性が明確になり、日本型の会社システムへの不安が大きくなった。

しかし、「株主主権論」はグローバル標準にはならない。株式会社は法理論上多様な形を容認できるものであり、お金の供給者の力は今後ますます弱くなっていくことであるのが理由である。会社は今後どのような形になるのかの答えはわからないが、それぞれの会社はこれまで以上に千差万別にならなければ生きていけなくなる。

問題 3 (30 点)

日本的経営とは、日本企業の経営の特質を示したもので、年功序列賃金、終身雇用制、系列取引、メインバンク制などが代表的なものだ。

以下教科書 91 ページ参照

問題 3 (10 点)
